

ふあ い 広場



寺の門をくぐると正面にお堂
があります。中心に不動明王が
祠つてあり、その左側に白い象
の上に乗った普賢菩薩がありま
す。象が横向きなのでお釈迦様
の脇侍として作られたのでしょ
う。辰年と巳年生まれの人を守
る、長生きの仏様と言われてい
ます。

仏像の底に付けられた木片に
は「文和三年法眼院廣」と書い
てあります。院廣は院派いんはと呼
ばれる流派の最後の仏師で約六百
年前の作といわれます。

江戸時代（寛政年間）に、台
座が宇都宮の仏師によって修
理されました。指が欠けてい
るなど傷みもありますが、口
元や目元はとても温和な表情
の仏像です。



▲台座とその下の白象



大通り4丁目
黒崎貞彦さん

もくぞうふげんぼさつぎぞう
宝蔵寺の木造普賢菩薩坐像

昭和50年3月25日・市指定文化財

文化財ウオッチング